

2015-5-18

荒川英敏

### ロンドン・ハリンゲイ区で行われたチャリティ区民マラソンを観戦

昨日は、ロンドンのハリンゲイ区で行われた YMCA 主催、区役所後援のチャリティ区民マラソンを観戦して来ました。幸い天気も良く気温は 17℃絶好のマラソン日和でした。これはハリンゲイ区恒例のイベントの一つで、午前中は大人対象の 10 マイル (16km) マラソンで、中心部のプライオリ公園をスタート、区内を一周し公園に戻るコースで行われました。

午後は、メインイベントのチビッ子マラソンでコースは芝生の公園を一周する 1 マイル (1.6Km)で、年齢別に細かく分けられ 7~8 歳、9 歳~10 歳、11 歳~12 歳でしかも男女別々なので、6 回もスタートが行われました。低学年は親御さんと一緒に走っても良いとされていたのですが、見た感じでは 10%位のチビッ子が親御さんと一緒に走りました。



親御さんと一緒に走れる低学年のスタート



高学年のスタート



青空の下、芝生の上で出番を待つ家族たち



出店や出張ライディング施設も出て賑わう公園

日曜日で晴天だったし、マラソンに参加できなかったチビっ子たちも楽しめる様に様々な出張ライディング（遊戯）施設も設置され、家族連れにとっては楽しい一日だったはずです。私も、孫娘二人（7歳と10歳）が参加（参加費/名 £15=2,700円）していたので大声を上げて応援しました。マラソンの結果は順位付けは行わず参加者全員にメダルがかけられドーナツが与えられました。

今回のチャリティ区民マラソンで集まった寄付金は、YMCA 経由で様々な社会福祉事業に寄贈されるそうです。この種のイベントの告知、コース設定、参加賞の準備と配布、参加者のゼッケン番号の配布、参加者の整理、迷子の世話、放送、コース警備、待機救急車の手配、ペットボトルの準備、後片付け等々、これらの運営のほとんどがボランティアによって支えられており、英国人のボランティア精神の旺盛さと、家族と一緒に過ごす時間を大切にする普通の英国人の楽しみ方の一端を垣間見ることが出来ました。（了）